

令和6年第2回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	7	小 林 英 雄	<p>1 避難訓練について</p> <p>2 環境問題について</p> <p>3 道路整備について</p>	<p>(1) 本庁舎は大きな地震発生による倒壊の危険性が高いと考えられる。地震発生を想定した避難訓練を行うべきと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>(1) 地球温暖化に対する取り組みについて市の考えを伺う。</p> <p>(2) カーボンニュートラル（温室効果ガス排出ゼロ）の取り組みについて市の考えを伺う。*カーボンニュートラルに取り組んでいる自治体の資料を請求。</p> <p>(1) 都市計画道路の路線数と道路整備の状況について伺う。</p> <p>(2) 以前に何度か質問したが圏央道側道の久喜市側との接続について進捗状況を伺う。</p>
2	4	芦 葉 弘 志	1 高次脳機能障がいについて	<p>「高次脳機能障がい」とは事故や病気などで脳に損傷を受けた後に、記憶力や注意力の低下などの症状が現れ、日常生活や社会生活に支障が出る障がいである。高次脳機能障がいの症状は、記憶障がい・注意障がい・遂行機能障がい・社会的行動障がいなどがある。また、症状が外見からわかりにくく、また本人に自覚がないことも多いため「見えない障がい」と言われることもある。そのため障がい者の周囲のかたにも、この障がいに対する理解が必要となっている。</p> <p>(1) 高次脳機能障がいについて市としての把握している人数を伺う。 また、県に報告している、直近5年間の高次脳機能障がい相談人数</p>

				<p>を伺う。(資料提出)</p> <p>(2) 高次脳機能障がいについて今後市として取り組み予定の考えを伺う。</p> <p>(3) 高次脳機能障がいと認定された場合の市における福祉また介護サービスの現状について伺う。</p> <p>(4) 介護福祉課作成の「幸手市認知症サポートガイド」と同レベルの高次脳機能障がいのサポートガイドを作成することについて市としての考えを市長に伺う。</p> <p>(5) 障がい者自立支援法第3章では、{地域生活支援事業で定めている、市町村が行う「一般的な相談支援」および「専門性の高い相談支援」に位置づく} となっているが、市の相談体制について伺う。</p> <p>(6) 東京都医師会発行「かかりつけ医機能ハンドブック 2009」P362には、{今後是非必要とされるサービスについては、相談支援、自立訓練、就労継続支援、ケアマネジメント、地域活動支援センターの順にニーズが高かった} とあるが、これらについて市の取り組みおよび考えを伺う。</p> <p>(7) 「障がい者の福祉ガイド」(令和4年11改定) P12には「⑤高次脳機能障がいがある人への支援」が記載されていますが、記載されている事業は、すべて県の事業になっている。市として高次脳機能障がい支援の体制をどのように改善していこうと考えているのか、また「障がい者の福祉ガイド」の改定は考えているのか伺う。</p>
--	--	--	--	---

			<p>2 公共施設の利便性向上策について</p>	<p>(8) 熊谷市や本庄市が作成している、高次脳機能障がいを含んだ「ふくしまップ」作成について市としての考えを伺う。</p> <p>(9) 国立障がい者リハビリテーションセンター、高次脳機能障がい情報・支援センターホームページに研修のためのカリキュラム及びテキストがあるが、市として担当課職員および該当の事業所への周知をしたのか伺う。</p> <p>(10) さいたま市の「おねがいカード」や春日部市や久喜市の「ヘルプカード」は障がいを持つ本人や家族にとって、いざというときに役立つものと思うが、市としての導入に対しての考えを伺う。</p> <p>市民にとって、全ての公共施設に目を向けた、利用者の利便性の向上は期待することの一つとなっているが、今後の市民サービスとして、他市の先進事例を参考に本市でも導入することにより市民サービスにつながり誰もが利用しやすい公共施設となると考え次の点を伺う。</p> <p>(1) 春日部市では、本年1月から「書かない窓口」について導入している。この書かない窓口とは、手続において、申請書の記入方法が分からず不安な方や、転入時の手続のように複数の申請書へ何度も同じ情報を記入する方など、申請書への記入に大きな負担を感じる方の負担を軽減するために職員が申請書を作成するというサービスですが、市では導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 「AI翻訳タブレット」についてですが、大きく2つの機能がある。1点目は、音声筆談機能で、タブレット端末に話しかけると、その内容がテキストとして画面に表示され、指定した言語にAIが翻訳し、音声とともにテキストで画面に表示をされるというサービス</p>
--	--	--	--------------------------	--

				<p>スである。2点目は、ビデオ通訳機能で、専門の外国語通訳者とビデオ通話でつなぐことにより、来庁者と市職員との間に通訳者が入って来庁者とのコミュニケーションを円滑に行うといったサービスである。日本語のほか、17の言語に対応した外国語通訳者に加えて手話通訳者も配置されるため、手話通訳にも対応が可能となっている。市では導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) 全国自治体の福祉部門の窓口などで導入され始めている、耳が不自由な方との円滑なコミュニケーションを図るためのツールとして「UDトーク」など、無料の音声認識アプリについては、導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>(4) 千葉県四街道市、静岡県伊豆の国市、山口県長門市などで使われている、「軟骨伝導イヤホン」ですが、導入の目的は、加齢などにより耳が聞こえにくい方、また日常生活において聞こえに不安を感じている方が安心して来庁できる環境整備を目的としているが、導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>(5) 東京都東久留米市では、来庁者（聴覚又は言語に障害のある方）が手続きをおこなう際に、タブレット端末を利用して手話通訳者とビデオ通話ができる「遠隔手話通訳サービス」を令和5年4月から開始している。このタブレット端末では、遠隔手話通訳以外にも①外国語翻訳②音声言語の文字化も可能である。導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>(6) 2021年から国の事業として始まった、電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難のある人（きこえない人）と、きこえる人（聴覚障害等以外の人）との会話を通訳オペレーターが「手話」または「文</p>
--	--	--	--	---

			<p>3 奨学金返還支援制度について</p>	<p>字」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながるることができる、法律に基づいた公共インフラとしてのサービスである。この全ての方が不自由なく手続きができる日本財団電話リレーサービス提供の「電話リレーサービス」導入に関してどのように考えているか伺う。</p> <p>奨学金利用者の負担軽減に向け、返還を「肩代わり」する支援制度が、2015年から実施されている。「一定期間定住し、就職する」等の条件を満たせば、対象者の奨学金の返済を、自治体が支援する制度である。2022年6月時点で全国615市町村が導入している。</p> <p>自治体と地元企業などが「基金」をつくることを条件に、国が「自治体の負担額の2分の1」を「特別交付税」で、支援する枠組みで、スタートした。その後改訂があり、市町村については、基金の設置が不要になり、国が支援する範囲も、負担額の2分の1から全額（上限あり）まで拡大された。</p> <p>(1) 奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減すると共に、地方創生の観点から、若者の地方定着を促す「本制度」を、わが幸手市でも、実施することが必要であると考えますが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 県内で奨学金支援制度に取り組んでいる市町村はどれくらいあるのか伺う。また支援概要についても伺う。（資料提出）</p> <p>(3) 仮に奨学金支援制度に取り組む場合の一般的な予算額について伺う。</p> <p>(4) 企業がおこなっている、支援制度もあるが、市内業者で取り組んでいる企業はあるのか伺う。また支援概要についても伺う</p>
--	--	--	------------------------	---

3	6	坂本達夫	<p>1 幸手市庁舎整備アンケートについて</p> <p>2 大中落流域水路整備工事について</p> <p>3 幸手消防署庁舎建て替えについて</p> <p>4 「埼葛人権を考えるつどい」について</p> <p>5 中川崎、下川崎の道路事情について</p>	<p>(1) 本庁舎以外に、防災中枢拠点としての機能を移そうとは考えなかったのか、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 本庁舎整備費用は、だれが負担すべきと考えるか、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 新設する水路工事に支障となる既存の地下埋設物（NTT ケーブル、ガス管、水道管）のそれぞれの直径と当該水路の直径を伺う。</p> <p>(2) 地下埋設物の位置を現地で確認しているかを伺う。</p> <p>(1) 令和 11 年度までに用地を確保し、建設費を負担することになっているが、このことを市は承知しているか伺う。</p> <p>(2) 消防庁舎の用地取得、建設費の確保について、市はどのような準備をしているかを伺う。</p> <p>(1) 「埼葛人権を考えるつどい」の経理を管理する民間団体に対し、市は負担金の使途を明示するように求めたか伺う。</p> <p>(2) 久喜市は「人権啓発推進埼葛実行委員会」から脱会したというが、市はどのように考えているか伺う。</p> <p>(1) 市長は、中川崎、下川崎の道路の危険性を、どのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) どのようにすれば、道路の危険性を解消し、中川崎、下川崎の市民の安全を確保できると考えているか市長に伺う。</p>
---	---	------	--	---

4	3	宮澤大地	<p>1 幸手市内の交通渋滞について</p> <p>2 児童館内放課後児童クラブの老朽化について</p>	<p>市道 1-18 号線が慢性的な渋滞を起こしています。特に国道 4 号線幸手市役所入口交差点から東五丁目交差点までの区間の渋滞はひどく、国道 4 号線に向かうドライバーの大変なストレス、不便をかけている状況です。また近隣住民からは渋滞がひどいため本市道に合流することが困難なため、大きく迂回をして出かけるという声も聞いています。圏央道幸手インターチェンジ開設の影響による市内の交通量の増加も見受けられます。安心安全かつ市民になるべく利便良く使っていただく一助となればと考え、本質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 市道 1-18 号線の今後の整備計画について伺います。</p> <p>(2) 市道 1-18 号線渋滞の原因は何かを伺います。</p> <p>(3) 渋滞解消、あるいは緩和に向けた解決策などは考えているのか伺います。</p> <p>児童館の老朽化に伴い、児童館内にある放課後児童クラブ「にじいろ学童」は、市内の他、放課後児童クラブと比較して良い環境とは言えません。放課後児童クラブは子育て支援の観点から重要な役割を担っており、児童の健全な育成という観点からも改善が必要であると考えたことから、幸手市の見解を伺います。</p> <p>(1) 児童館全体の改修等の計画はあるのかを伺います。</p> <p>(2) 市内放課後児童クラブの新築・改修履歴を伺います。(資料提出)</p> <p>(3) 放課後児童クラブ「にじいろ学童」室内の改修等の計画はあるのかを伺います。</p>
---	---	------	--	--

5	1 1	小河原 浩和	1 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況を伺う。	<p>(1) 現在、吉田幼稚園の維持費はどの位掛かっているのか伺う。具体的に廃園が決まってから、昨年まで経費がわかるような項目別支出の資料をご提示ください。</p> <p>(2) ALCC 東京学院との契約交渉の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 売買契約において10年間の買戻し特約とはどのような内容か改めて伺う。</p> <p>(4) 10年経過後、都市計画法等、現在制約のある諸条件はどの様に制約が存在するかしないか改めて伺う。</p> <p>(5) 売買契約ではなく賃貸契約ではダメなのか改めて伺う。</p> <p>(6) ALCC 東京学院が提示した提案内容を実行してもらった保証はあるか伺う。</p>
6	1	高野 優一	1 ふるさと納税について	<p>(1) 昨年度の実績について伺う。</p> <p>(2) 直近10年間の返礼品協力事業者数について伺う。 (資料提供求める)</p> <p>(3) 直近10年間の返礼品登録事業者の継続状況(継続率)について伺う。</p> <p>(4) 令和6年度の4月までの実績について伺う。</p> <p>(5) 直近5年間の企業版ふるさと納税の実績について伺う。</p>

			<p>2 多面的機能支払制度について</p> <p>3 防災行政無線の設置状況について</p>	<p>(6) 企業版ふるさと納税を活用した計画の進捗状況を伺う。</p> <p>(7) 委託事業者が変更になった経緯を伺う。</p> <p>(8) 寄付額拡大の取組について伺う。</p> <p>(1) 制度の概要について伺う。</p> <p>(2) 幸手市内の活動組織数について伺う。(資料提供求める)</p> <p>(3) 農業者及びその他の者(地域住民、団体など)で構成される活動組織があるのか伺う。</p> <p>(4) 活動計画書に定める活動ができなくなった組織があるのか伺う。</p> <p>(1) 幸手市内における防災行政無線設置箇所について伺う。 (資料提供求める)</p> <p>(2) 防災行政無線が「聞こえない」「聞こえにくい」という声はあるのか伺う。</p> <p>(3) (2) に対しての対応策について伺う</p>
7	12	本田 謡子	1 高齢者の粗大ごみ対策について	<p>(1) 現在の粗大ごみ回収について伺う。</p> <p>(2) 高齢者の問い合わせなどはないのかを伺う。</p> <p>(3) 今後の高齢者の粗大ごみ対策について、市の考えを伺う。</p>

			2 幸手市防災会議やその他防災に関する女性の登用や参加について	<p>(1) 幸手市防災の根幹にある幸手市防災会議であるが、その委員構成について伺う。</p> <p>(2) この4年間の会議数や内容、及び出席状況を伺う。</p> <p>(3) 令和6年1月に内閣府男女共同参画局より出された「男女共同参画の視点からの防災の取組について」では、地方防災会議について、地方防災会議の女性委員の割合を3割以上にすることを目指すとされているが、これからの幸手市の施策を伺う。</p> <p>(4) 幸手市の助成金の補助で取得した防災士の男女別数を伺う。 職員も同様に伺う。</p> <p>(5) 自主防災組織や自治会の防災担当に、女性の登用や参加を促す市の施策を伺う。</p>
8	15	大平泰二	1 学校統廃合について	<p>以下の項目について市長に伺う</p> <p>(1) 年齢別（ゼロ歳～）各小学校区の人口数について。（資料提出）</p> <p>(2) 各小中学校余裕（空き）教室の数について。（資料提出）</p> <p>(3) 中学校を3校とした根拠について。</p> <p>(4) 権現堂川、吉田、八代小学校とさくら小学校の統合は検討されたか伺う。</p> <p>(5) 統廃合による通学手段について。</p>

			<p>2 体育館・公民館空調設備について</p> <p>3 桜まつり会場に隣接する違法な駐車場について</p> <p>4 高齢者が利用しやすい市内循環バス路線について</p>	<p>以下の項目について市長に伺う。</p> <p>(1) 小中学校体育館及び武道館のエアコン設置の基本方針について。</p> <p>(2) 各公民館のエアコン整備状況について。</p> <p>(3) 学校施設大規模停電対策について。</p> <p>(1) 桜まつり会場付近における違法な農地埋め立て駐車場問題について農業委員会の見解を伺う。</p> <p>(2) 市街化区域外にある地番 46-1、46-3 の登記上の地目と農家台帳の課税について伺う。また、埋め立てた経緯と違法通告について。</p> <p>(3) 農地法違反の土地を駐車場として使用又は貸出した場合の違法性について伺う。</p> <p>(4) 地番 46-1、46-3 を駐車場として運用管理した団体とその収益報告について伺う。</p> <p>(5) 過去 5 年間の納税実績について伺う。</p> <p>(6) 農地法に基づいた罰則規定について伺う。</p> <p>以下の項目について市長に伺う。</p> <p>(1) 幸手駅から日本保健医療大学、幸手中央地区産業団地を經由し杉戸高野台駅までの通勤通学バス路線の設置について。</p>
--	--	--	---	---

				<p>(2) 往路・復路の設置について。</p> <p>(3) コミセンと東鷲宮駅までの間（千塚西公園）にバス停を設置することについて。</p> <p>(4) ライドシェアの導入検討課題について。</p>
9	14	青木章	<p>1 地域おこし事業について</p> <p>2 幸手市大規模プロジェクト等について</p> <p>3 移動スーパーについて</p>	<p>(1) 幸手市の対応について。</p> <p>(2) 若者の流入について。</p> <p>(1) ゆめファーム全農について。</p> <p>(2) 上高野地区土地改良事業について。</p> <p>(3) 産業団地拡張について。</p> <p>(4) コストコ出店について市長に伺う。</p> <p>(1) 幸手市の実態について。</p> <p>(2) 市民要望について。</p> <p>(3) 今後の対応について。</p>

10	10	松田雅代	<p>1 市営神扇池釣場の新年度引継ぎ状況について</p> <p>2 定住・移住対策について</p> <p>3 会計年度任用職員制度のより効果的な運用について</p>	<p>当施設については、本年度より3年間の指定管理者制度がスタートした。</p> <p>(1) 新年度の引継ぎ状況（備品の配置、自主事業年間計画、市内業者との業務提携、YouTube 配信など）を伺う。</p> <p>(2) 施設の設置者としての市の3年間の具体的な施設整備計画を伺う。</p> <p>(3) 収入、来場客数の目標・見込みを伺う</p> <p>幸手市が10年ぶりに人口問題会議が公表する「消滅可能性自治体」から脱却した。要因は一つではないと考えるが、結果に一喜一憂するのではなく、どのような施策が奏功したのかを分析し、次の一手を研究し実行していくことが重要と考える。そこで</p> <p>(1) どのような施策が奏功したのか。本件についての状況分析を伺う。</p> <p>(2) 今後、どのような定住政策を実行していくか。その方向性を伺う。</p> <p>令和2年度の地方公務員法の改正により「会計年度任用職員制度」が施行され4年が経過している。この改正により、これまで不明瞭であった非常勤職員やパートタイマー職員が単年度雇用ではあるが地方自治体の一般職の職員として、地方公務員法のもと位置付けが明確になった。この間に幸手市の会計年度任用職員の人数もかなり増えてきているようで、市の行政運営において、公務能率の発揮、事務執行体制の強化、正規職員の負担軽減のためにもこれら会計年度任用職員を効果的に活</p>
----	----	------	---	---

				<p>用することに大きなメリットがあると考えます。そこで伺う。</p> <p>(1) 会計年度任用職員の募集・採用方法の見直しの結果について。令和4年第2回定例市議会で、会計年度任用職員の事前登録制度を提案したが、令和5年度、令和6年度の募集に際して、どのような検討、どのような見直しを行い、どのような成果があったか、また、抜本的な対策はあるのか伺う。</p> <p>(2) 会計年度任用職員の配置等の現状について。市長部局、教育部局別に伺う。(令和6年4月1日現在の会計年度任用職員の総数、配置、事務内容について資料提供願います)</p> <p>(3) 会計年度任用職員の人材育成の現状と課題、今後の改善を伺う。</p> <p>(4) 今後の会計年度任用職員の効果的な活用についての考え方を伺う</p>
1 1	2	小 泉 圭 司	1 学校運営の在り方について	<p>(1) 学校の適正規模を検討するにあたり、小規模特認校の検討をなされたのか伺う。</p> <p>(2) 教育長が教育審議会への諮問の中で「小・中学校は一定の集団規模を確保することが必要」と書かれている根拠について伺う。</p> <p>(3) 中学校3校のバランスと将来的な生徒数の見込みの適正規模について伺う。</p> <p>(4) “道徳教育”の推進について伺う。</p> <p>(5) P T Aの今後の在り方について伺う。</p>

			<p>2 公共施設の熱中症対策と避難時の電力確保について</p> <p>3 公共交通計画について</p>	<p>(6) 学校運営協議会の任期について伺う。</p> <p>(1) 体育館、武道館などの公共施設の熱中症対策について伺う。</p> <p>(2) 避難場所となる公共施設の電力確保の対策について伺う。</p> <p>(3) 環境省が推奨している「PPA等の第三者所有による太陽光発電設備導入の手引」について幸手市としての考え方について伺う。</p> <p>(1) デマンドタクシーの詳細について伺う。</p> <p>(2) デマンドタクシーの説明会での市民からの声について伺う。</p> <p>(3) 今後の循環バスを含めた公共交通計画について伺う。</p>
1 2	5	四本 奈緒美	1 災害に強い地域づくりについて	<p>1月に発生した能登半島地震の避難所の状況は、ライフラインの復旧の遅れ等により非常に厳しいものであった。近年各地で地震が多発している。改めて自分事として、今こそ自助・共助を基本とした災害に強い地域づくりに本市も取り組むべき時と考える。</p> <p>(1) 現在、内閣府・防災担当では、「令和6年能登半島地震に係る検証チーム」において検証を行っている。今回の災害対応における課題の一つに、避難所運営・管理や避難生活の環境改善に女性の視点に立った取組みがなされていない例が見受けられ、今後の課題対応として、防災分野の意思決定過程や災害対応現場における女性の参画を促していくとある。本市における地域防災会議の委員に占める女性の割合と、防災担当部局の女性職員の割合を伺う。※資料要望 幸手市防災会議委員名簿</p>

			<p>2 認知症対策「ユマニチュード」の普及について</p>	<p>(2) 防災分野の意思決定過程や災害現場における女性の参画についての本市の考えと取組みを伺う。</p> <p>(3) ペット同行避難について本市の考えと取組みを伺う。</p> <p>(4) 幸手市地域防災計画にある、今年度の市で実施する避難訓練の内容について伺う。</p> <p>(5) 同じく幸手市地域防災計画にある、市職員の訓練の災害想定訓練(図上訓練)の実施内容について伺う。</p> <p>(6) 能登半島地震における避難所の状況を鑑み、改めて避難所運営が重要と考える。発災時の避難所設置と運営が円滑に行われる為に、市民もペットも参加しての実践的な避難所設置の防災訓練の実施が必要と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>日本は高齢化が進み、2025年には65才以上の高齢者の5人に1人に当たる約700万人が認知症になると推計されている。認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境整備が重要であると考えます。</p> <p>(1) 本市の認知症の方の人数を伺う。</p> <p>(2) 認知症の方、介護する家族等へのケアと本市の取組みを伺う。</p> <p>(3) 認知症の方に寄り添うフランス発祥の認知症ケア技法である「ユマニチュード」の、家庭や介護現場での普及への本市の考えを伺う。</p>
--	--	--	--------------------------------	---

			<p>3 予防できるがん対策について</p> <p>4 幸手市集会所整備事業補助金について</p>	<p>子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因とされる。子宮頸がんを予防する HPV ワクチンの積極的勧奨が令和 4 年 4 月から再開されている。現状では唯一ワクチン接種によって予防できるがんである子宮頸がんの本市の対策について伺う。</p> <p>(1) HPV ワクチン接種の「キャッチアップ接種」の周知方法、接種状況、取組み状況について伺う。</p> <p>(2) HPV ワクチンの接種の「キャッチアップ接種」が来年 3 月末に終了する。未接種者に対する対応について伺う。</p> <p>(3) 定期接種の周知方法、接種状況、取組み状況を伺う。</p> <p>(4) 埼玉県内では熊谷市と本年 4 月より秩父市が男子への HPV ワクチンの接種助成を実施している。本市の男子への HPV ワクチンの接種助成の考えについて伺う。</p> <p>(5) 健康日本 21 幸手計画（第 4 次）には HPV ワクチン接種の勧奨・啓発の取組み内容が記されている。今年度の具体的な取組みについて伺う。</p> <p>(6) HPV ワクチン接種の重要性に対する本市の見解を伺う。</p> <p>(1) 幸手市集会所整備事業補助金について内容を伺う。</p> <p>(2) 幸手市集会所整備事業補助金の今年度の予算とその積算根拠を伺う。</p> <p>(3) 今年度の幸手市集会所整備事業補助金の申請状況と事業の実施内容について伺う。</p>
--	--	--	---	---

				<p>(4) 集会所や自治会館は、平常時には地域コミュニティの拠点であり、災害時には地域の避難所として重要な役割を果たす場所である。そこを整備していくことの重要性について本市の見解を伺う。</p> <p>※資料要望 過去10年間の幸手市集会所整備事業補助金の実施内容一覧</p>
13	9	木村治夫	<p>1 防災体制の強化について</p> <p>2 観光振興と市観光事業について</p>	<p>(1) 市として災害用井戸に対する認識と設置の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 災害時には断水により飲料水、生活水の不足が想定されます。市として対応・対策等について伺います。</p> <p>(3) 全国的に災害時協力井戸の取り組み事例がありますが、市として水質検査実施、案内板設置、自主防災会、個人、企業に登録の呼びかけ周知を推進し、新たな助成制度を確立すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(4) 災害用井戸の活用は、災害時における水確保手段の多様化につながる最も有効な方法と考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(1) 第91回幸手桜まつりの実施状況と収支状況について伺います。</p> <p>(2) 年度中の観光事業に対する影響等について伺います。</p> <p>(3) 人の流れを街中へ呼び込む回遊性を高める取り組みと、その実践事例について伺います。</p>

			<p>3 幸手駅西口土地区画整理事業について</p>	<p>(1) 整理事業の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 駅西口に計画している親水公園の整備進捗状況について伺います。</p> <p>(3) 駅西口周辺に市の玄関口にふさわしい街並みを形成し、賑わいを創出する施策について、市長に伺います。</p>
--	--	--	----------------------------	---